

Ⅰ 学校経営計画

Ⅰ 教育目標

学び いかす子 思い あらわす子 きたえ いどむ子

2 学校経営の基本理念

「みんなでつくろう あいさつと歌声のひびく 元気いっぱい 笑顔いっぱい の学校」

3 学校経営の基本方針

日本国憲法及び教育基本法等の教育関係法規、学習指導要領の目標及び内容、栃木県教育振興基本計画 2025-とちぎ教育ビジョン-、佐野市学校教育指導計画 の方針を踏まえ、以下の基本方針の下、全教職員の創意と工夫により、豊かな心をもち、心身共に健康で実践力のある児童の育成を目指す。

- (1) 将来を見通した知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成と着実な実践を通し、「生きる力」の育成に努める。
- (2) 生命尊重・人権尊重を教育活動の基盤とし、児童一人一人を大切にした教育活動の実践に努める。
- (3) 教育公務員としての使命を自覚した教職員が、指導力向上と協働的な職務遂行に努める。
- (4) 学校・家庭・地域との連携・協働により、開かれた学校、魅力のある学校づくりに努める。

4 目指す児童像

- 自主的・主体的に知識・技能を得て、自ら判断し行動できる児童
- 互いのよさや違いを認め合い、自分の思いを素直に表現する児童
- 自らのよさや可能性を発揮し、他の役に立とうとする児童
- 心と体を鍛え、挑戦する児童

5 目指す学校像

- ・児童が安心して通学でき、楽しく学べる学校
- ・保護者の思いに寄り添い、子どものよさや可能性を伸ばす学校
- ・地域の教育力を活かす学校
- ・教職員の能力を活かし、協働する学校

6 目指す教職員像

- ・児童の人権を大切にし、自尊感情を育てる教職員
- ・児童の思考をゆさぶる「問い」ができる教職員
- ・児童が安心して学べる環境をつくる教職員
- ・互いのよさを認め、高め合う教職員
- ・使命感をもって職務を遂行する教職員

7 本年度の努力点

(1) 調和のとれた学校経営の推進

- ア 創意工夫を生かした教育課程の編成と組織的・計画的実践
- イ 教育目標の具現化に向けた学年・学級経営の充実
- ウ 児童・家庭・地域の実態に基づく魅力ある教育活動の推進
- エ 開かれた学校、地域とともにある学校づくりの推進
- オ 学校評価を生かしたPDCAサイクルによる教育活動の改善と充実

(2) 教職員の資質の向上

- ア 学校研究課題への組織的・主体的な取組
- イ 対話と協働を重視した校務分掌による学校経営への参画意識の高揚
- ウ 専門性を高める自主研修の実践
- エ 校内研修の充実と校外研究会等への積極的な参加

(3) 健康・体力の増進と安全教育の充実

- ア 体育科の授業の工夫改善とマラソントイム、なわとびタイムの効果的な実施
- イ 食に関する指導の充実
- ウ 性に関する指導の充実
- エ 感染症対策としての学校の生活様式の徹底
- オ いのちを守る実践的安全指導の強化（生活安全・交通安全・災害安全教育等）
- カ 施設設備の安全点検の徹底
- キ 地震・豪雨等に対応した危機管理体制の構築

(4) 学習指導の充実

- ア 基礎的、基本的な内容の確実な習得
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による学習意欲の向上と主体的に学習に取り組む態度の育成
- ウ 「犬伏スタンダード」を通した「分かる授業」の展開（めあて、発問の吟味）
- エ 対話的な学び合いの充実による個の学びの広がり、深まり
- オ タブレットパソコンの活用による授業展開の確立
- カ ICT機器等の積極的活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- キ 個に応じた学習指導の工夫改善
- ク 家庭学習の奨励と確認による学習習慣の確立
- ケ 三義唐沢SSCとの連携による地域の教育力・教育資源の積極的活用

(5) 道徳教育の充実

- ア すべての教育活動を通じた道徳性の育成
- イ 特別の教科道徳の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業実践
- ウ いじめの未然防止につなげる授業実践
- エ 一人一人の成長を認め励ます個人内評価の実施

(6) 人権教育の推進

- ア 人権尊重・生命尊重を基盤とした教育活動の実践
- イ 児童一人一人の特性、実態を理解し、個に応じたきめ細かな指導・支援の実践
- ウ 異年齢集団活動を通じた認め合い、助け合う温かな人間関係の構築
- エ ボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障がい者、幼稚園児等との交流活動などの体験による、豊かな人間性の育成と人権意識の高揚
- オ 人権に配慮した言語環境、学習環境、教室環境づくり
- カ 教職員の研修の充実と保護者への積極的な啓発活動の実施

(7) 児童指導の充実

- ア 全教職員によるほめて伸ばす児童指導体制の確立
- イ 黙想と腹式呼吸による心の安定化
- ウ 「立腰」「返事・あいさつ・靴揃え」指導による基本的生活習慣の育成
- エ 自己有用感を高める小善表彰（むくろじ賞）の積極的活用
- オ 全校合唱・今月のうたの取組による共感的人間関係の構築
- カ 学業指導（集団づくり・授業づくり）の充実による開発的・予防的児童指導の推進
- キ 「犬伏小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導体制の充実
- ク 「心のさのし合言葉」「宣誓 STOP THE いじめ」の効果的活用
- ケ アンケートや教育相談等による問題行動の予防、早期発見・早期対応
- コ 専門家（SC・SSW等）や関係機関との積極的連携による児童支援の充実
- サ 情報モラル教育等、家庭の教育力を高める積極的な保護者支援
- シ 自己決定（選択）・集団決定（選択）の機会の提供
- ス 児童及びその家庭の状況に応じた段階的な支援体制の工夫
（登校時の組織的対応、校内適応指導教室の効果的な活用等）

(8) 特別支援教育の充実

- ア 特別支援教育コーディネーターを中心にした校内体制の整備
- イ 特別支援教育に関する校内研修の推進
- ウ 通常の学級における合理的配慮と個に応じた指導の実践
- エ 関係機関との積極的連携による効果的な指導と二次障害の防止
- オ 一人一人の進路や将来を見据えた適切な教育支援の充実
- カ 「入学支援シート」「小中連携支援シート」の積極的活用による
学校間連携の推進

(9) 特別活動の充実

- ア 学校や地域の実態、児童の発達段階や特性を考慮した計画の作成と実践
- イ 特別活動の特質と他の教育活動との関連の明確化による指導の充実
- ウ 評価の観点の設定と児童一人一人のよさを伸ばす評価の実践
- エ 児童同士の話し合い活動を重視した学級活動における自治的、実践的活動の促進
- オ 児童会活動・クラブ活動における自発的、自治的活動の促進
- カ 児童の主体性を生かした学校行事の質的改善
- キ 児童の自主企画によるイベント等の推奨

(10) 総合的な学習の時間の充実

- ア 学校や地域の特色、児童の実態等を踏まえた全体計画の改善と充実
- イ 教科横断的な指導の充実
- ウ 探究的な学習や体験的な学習の積極的推進
- エ 地域の教育資源を活用した「佐野学」、「犬伏学」の実践

(11) キャリア教育の充実

- ア 佐野市キャリア教育推進計画を踏まえた全体計画の作成
- イ 教育活動全体を通じた体系的なキャリア教育の推進
- ウ 望ましい職業観・勤労観育成に向けた地域との連携
- エ 体験活動、インタビュー活動の充実

(12) 国際教育の充実

- ア 日本及び他国の文化を理解し尊重しようとする態度の育成
- イ ALTや外国の人々のふれあいを通して、互いに理解し合う態度の育成
- ウ コミュニケーション能力を重視した外国語教育の推進

(13) 情報教育の充実

- ア ICTの効果的な活用や情報モラル、著作権、情報セキュリティ等に関する校内研修の充実による教員の資質、能力の向上
- イ タブレットパソコンを利活用した教育活動の実践
- ウ 各教科の指導を通じたプログラミング的思考の育成
- エ 児童の発達段階に応じた情報モラル教育の実践と保護者との効果的連携

(14) 環境教育の充実

- ア 児童の発達の段階に応じた環境問題の係る事項の指導計画への位置付け
- イ ESDの視点を取り入れた環境教育の実践(エコ活動の日常化)
- ウ 日常活動と環境問題との関連に気付くための豊かな感受性の涵養
- エ 掲示の工夫による自尊感情の高揚及び美化意識の育成
- オ 家庭や地域社会、関係機関との連携と地域人材・施設の活用推進

(15) 小中一貫教育の推進

- ア 佐野北小中一貫教育推進計画に基づいた子ども像の具現化
- イ 中学校への接続を踏まえた系統性のある学習指導と児童指導の展開

みんなで つくろう

あいさつと歌声のひびく 元気いっぱい 笑顔いっぱい の学校

<来年度の学校経営の4本柱>

1 環境づくり

・和顔愛語の教職員

(笑顔・名前+あいさつ+ひと言・ありがとう・ほめことば・プラスの声掛け)

・音楽の活用

(朝の歌・今月の歌・学級・学年合唱・全校合唱・活動の切り替わり)

・掲示物の活用

(思わず足を止めて見たくなる・認め合う・自尊感情を高める)

2 凡事徹底と自主考動

・あいさつ ・返事 ・靴のかかとそろえ ・黙想タイム ・立腰 ・腹式呼吸 ・黙働

・個別最適な学び、協働的な学び

(ハンドサインの活用、思考ツールを活用した学び合い、自由進度の単元の設定)

・あたたかな人間関係づくりを育む自発的・自治的な活動

(学級活動、児童会活動、なかよし班活動、係活動、委員会活動、クラブ活動)

(学校行事・運動会・遠足・宿泊学習)

・自己決定(選択) 集団決定(選択)の機会の提供

・児童の活躍の場の設定 (行事・集会における司会進行等・児童が児童に教える)

・児童の自主企画イベントの奨励

3 地域の教育力の活用と地域貢献

・ゲストティーチャー、出前授業、学校支援ボランティアの活用

・体験的な活動、校外学習、オンライン授業

・「あいさつと歌」からはじめる地域貢献、自分たちにできることを実践

4 積極的な情報発信

・校長室だより → (不定期) 学校の経営方針 校長の考え お知らせ 表彰

・学年だより → (定期:月末) 学年教員の考え お知らせ 人権教育の啓発

・ホームページ → (毎日更新) 学校での子供たちの様子 学年最低週1回更新

・人権だより「むくろじ」 → (定期) 人権教育の啓発